

核研総第37号
令和5年10月5日

関係機関の長
関係学部等の長 殿
関係各位

大学共同利用機関法人自然科学研究機構
核融合科学研究所長 吉田善章
(公印省略)

研究教育職員（教授、准教授又は助教）の公募について（依頼）

このたび、当研究所では下記の要領で教授、准教授又は助教を公募いたします。
つきましては、関係各位にお知らせいただくとともに、適任者の応募について、よろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。

記

1. 公募する職種及び人員

学際的核融合科学分野 教授／准教授／助教 若干名（うち、1名以上を女性とする計画）
（任期5年、在任中の業績評価により再任も可とする）

2. 研究内容

核融合科学研究所は令和5年度からユニット体制を構築し、学際的な共同研究によって、核融合科学の先端的な研究を推進しています。この研究体制をさらに強化するため、核融合科学を広くとらえた学際的なビジョンをもって核融合科学を発展させる人材や、多様なバックグラウンドを活かして核融合科学を学際的に展開させる人材を募集します。国内外の共同研究及び人材育成にも積極的に取り組むことが期待されます。

3. 希望事項

教授又は准教授

- （1）博士の学位を有すること
- （2）学際領域を含む核融合科学分野において実績があること
- （3）国内外の共同研究に積極的に取り組み、リーダーシップを発揮すること
- （4）学生の教育に意欲があること

助教

- （1）博士の学位を有する者、又は取得見込みの者
- （2）学際領域を含む核融合科学の研究に取り組む意欲のある者
- （3）国内外の共同研究の推進に意欲のある者

4. 公募締め切り

令和6年1月10日（水）17時（必着）

5. 就任時期

採用決定後のなるべく早い時期

6. 選考方法

選考は、核融合科学研究所運営会議において行う。

選考においては書類審査を行い、書類審査合格者のみ面接を実施する。

7. 提出書類

次の(1)～(5)の書類を E-mail (E-mail アドレスは下記 8. 参照) に添付して提出すること。(6) 推薦書については 8. 書類送付先【推薦書の提出方法】に沿うこと。

(1) 履歴書：任意の様式による。可能な就任時期も明記すること。(写真貼付、取得学位名を明記の上、連絡先に E-mail アドレスを記入すること。)

(2) これまでの研究内容：任意の様式による。A 4 2 ページ以内。

(3) 就任後の抱負：任意の様式による。A 4 2 ページ以内。

核融合科学研究所は、令和 5 年度からユニット体制を構築しており、研究者はいずれかのユニットに所属し研究を行う。就任後の抱負の中に、所属を希望するユニット名(メタ階層ダイナミクス／構造形成・持続性／位相空間乱流／プラズマ量子プロセス／プラズマ・複相間輸送／可知化センシング／プラズマ装置学／複合大域シミュレーション／超高流束協奏材料／超伝導・低温工学から一つを選択)、ユニットにおける研究計画、及び希望する職種(教授、准教授又は助教)を記入すること。

各ユニットの研究内容及び連絡先については、当研究所ホームページ「ユニット」(アドレス: <https://unit.nifs.ac.jp/research/>) を参照のこと。

(4) 研究業績発表論文リスト：和文と英文は別葉とすること。共著の論文については、共著者名をすべて記入すること。また、それぞれの論文について、レフェリーによる審査(査読)を経たものであるか、否かの区別を明確にすること。

なお、リスト作成にあたっては、当研究所の「研究業績リスト作成基準」(当研究所ホームページ(アドレスは下記 10.(1) 参照)に掲載)によること。

加えて、外部資金の獲得実績及び特許についても記載すること。

(5) 論文別刷：主要な論文の別刷を、教授又は准教授を希望する応募者は 5 編程度(直近の 3 年間に出版された 3 編以上を含むこと、ただし、10.(5) に述べる産前産後・育児・介護のための休暇・休業及び病気休暇・病気休職の期間を配慮する)、助教を希望する応募者は 3 編程度添付すること。(別刷がない場合はコピーでも可。助教を希望する場合は学位論文及び投稿中又は投稿予定を含んでもよい。)なお、添付した論文の概要と本人の貢献を別途記載した文書を添付すること(任意の形式による)。

(6) 推薦書：教授又は准教授を希望する応募者は 2 名以上の研究者からの推薦書を提出すること。このうち応募者が所属する機関の所在国と異なる国の機関の研究者からの推薦書を含めることが望ましい。助教を希望する応募者は推薦書 1 通を提出すること。いずれも任意の様式による。

上記の書類は、履歴書以外は原則として A 4 判横書きとし、それぞれ別葉とすること。

また、各書類のすべてのページの右肩上に応募者氏名を必ず記入すること。

8. 書類送付先

【提出書類(※推薦書を除く)】

核融合科学研究所管理部総務企画課人事係

nifs-jinji@nifs.ac.jp

メール件名を「学際的核融合科学分野 応募希望」とし、上記書類データを添付し E-mail で送付すること。E-mail 送信後、3 営業日以内に受領確認のメールが届かない場合には、下記問い合わせ先まで連絡すること。

【推薦書の提出方法】

推薦者が E-mail もしくは郵送で送付のこと。（E-mail で送付の場合は、件名は「学際的核融合科学分野 推薦書」とし、添付ファイルは PDF とする。）

送付先 〒509-5292 土岐市下石町322-6

核融合科学研究所管理部総務企画課人事係

nifs-jinji@nifs.ac.jp

9. 問い合わせ先

(1) 提出書類について

核融合科学研究所管理部総務企画課人事係

電話 0572-58-2013（直通）

(2) 研究内容等について

核融合科学研究所

副所長 藤堂 泰

E-mail tohdo.yasushi@nifs.ac.jp

10. その他

(1) この公募内容については、本研究所のホームページ（アドレス：

<https://www.nifs.ac.jp/about/recruit/>）に掲載していますので、ご参照ください。

(2) 給与待遇は原則年俸制になります（年額の12分の1を月額支給）。

(3) 当研究所の任期制については、「核融合科学研究所研究教育職員の任期に関する規則」（当研究所ホームページ（アドレスは上記（1）参照）に掲載）によります。

(4) 「男女雇用機会均等法」第8条（女性労働者に係る措置に関する特例）の規定により、女性研究者の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として、募集人数若干名のうち1名を女性に限定した公募を実施します。

(5) 本人事においては男女共同参画社会基本法の趣旨を尊重します。また、自然科学研究機構では、研究者の多様性を高めることにより、教育研究の質の向上に取り組んでいます。

・研究・教育業績や人物の評価において同等と認められた場合には、女性と外国人を採用します。

・産前産後・育児・介護のための休暇・休業（育児部分休業、介護部分休業を含む。）の取得、又は業務上若しくは通勤途上による傷病に起因する病気休暇・病気休職により研究を行うことができなかった期間がある場合には、履歴書等にその旨明記していただければ、業績を評価する際に配慮します。

以上